

| | |
|-------------------|-----|
| 令和2年10月2日（金） | 資料4 |
| 令和2年度 第2回 自立支援協議会 | |

地域生活支援拠点の整備について

1 本日の協議にあたって

本件については、7月15日の自立支援協議会及び各委員より意見聴取を行い、それらを参考に、「別紙 地域生活支援拠点における各機能の状況について」のとおり、取組の方向性についてそれぞれ事務局案を作成した。

前回の資料においてお示したとおり、相談、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの機能については、障がい者福祉センターを軸に充実を図っていくため、引き続き議論を進めていく。

本日の協議会においては別紙に基づき、引き続き各機能の課題等について意見をいただき協議を進めていく。

2 板橋区の地域生活支援拠点について

面的整備を軸に、障がい者福祉センターを令和3年度より地域生活支援拠点に位置づけ、既存の相談、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり機能について、検証を行いながら、引き続き機能充実を図っていく。

緊急時の受入・対応及び体験の機会・場の確保については、区内関係事業所に協力を呼びかけるとともに、板橋キャンパスの状況を適宜報告し、地域生活支援拠点の機能確保に努める。

板橋キャンパスができた段階で上記と同じく地域生活支援拠点に位置づけ緊急時の受入・対応及び体験の機会・場の機能を確保する。

3 地域生活支援拠点としていく上での留意点

（1）地域生活支援拠点となるには

自立支援協議会の合意をもって、地域生活支援拠点等の整備がなされたと考えることが可能となる。

（2）地域生活支援拠点の認定にあたり

核となる施設に5つの機能全てを持たせることが必ずしも地域生活支援拠点の要件ではなく、部分的な機能を持たせる面的整備も可能となるため、障がい者福祉センターを一部の機能を持つ地域生活支援拠点と位置付けることが可能となる。

4 板橋区の地域生活支援拠点としてのイメージ

別紙2「板橋区における地域生活支援拠点（現状）」

「(案) 板橋区における地域生活支援拠点（目指すべき姿）」のとおり

5 自立支援協議会における本件に対する今後の協議について

次回の自立支援協議会において、障がい者福祉センターを地域生活支援拠点として、位置付けることについて確認のうえ、各機能については、協議会で出された課題をもとに、次年度以降も議論を重ね、充実に向けた取り組みを継続していく。

また、第6期障がい福祉計画に基づき、地域生活支援拠点の機能充実のため、自立支援協議会において、運用状況の検証及び検討に取り組んでいく。